

令和3年度  
行政評価(実施計画(施策))外部評価



令和4年10月

飯島町

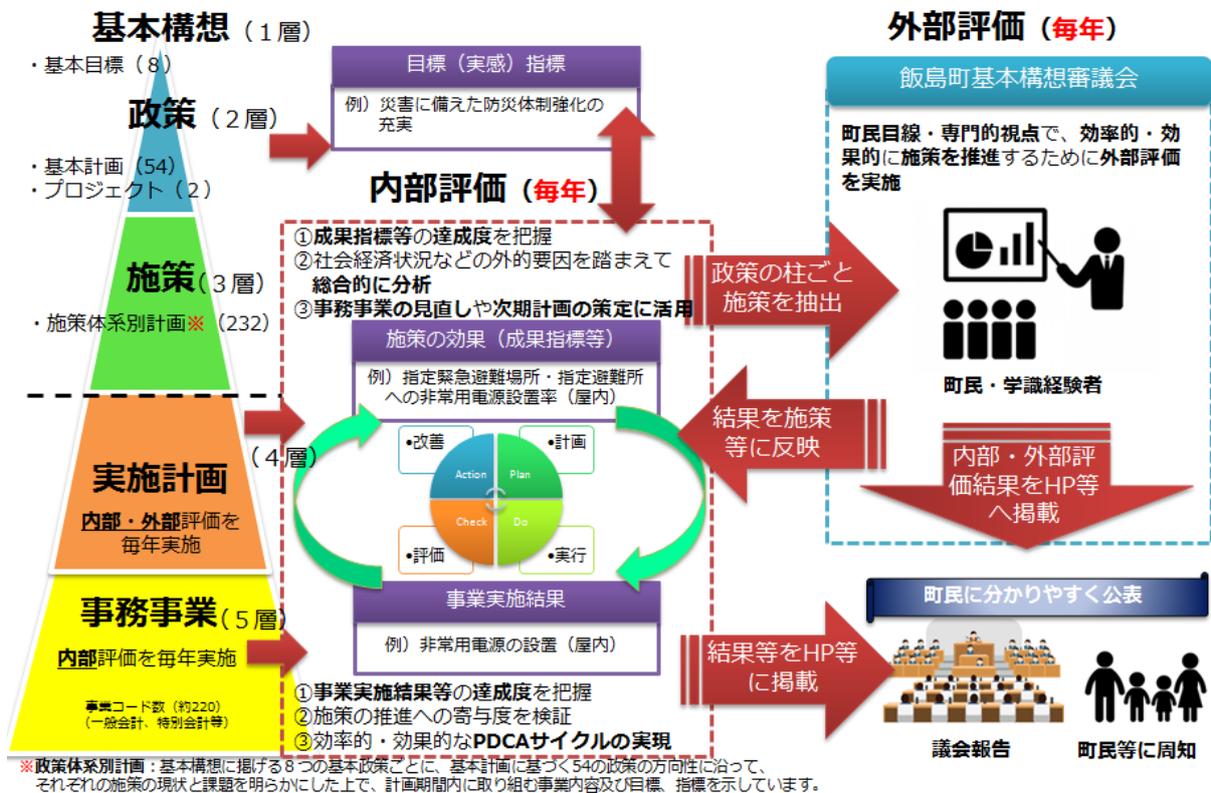
# I 飯島町の施策評価・事務事業評価制度

## 1 目的

行政の施策を評価しマネジメントサイクル（PDCA サイクル）を確立することで、施策の改善を導き、効率的で成果を重視した行政と開かれた行政を推進します。

## 2 体系図

### 飯島町第6次総合計画における評価制度（全体イメージ）



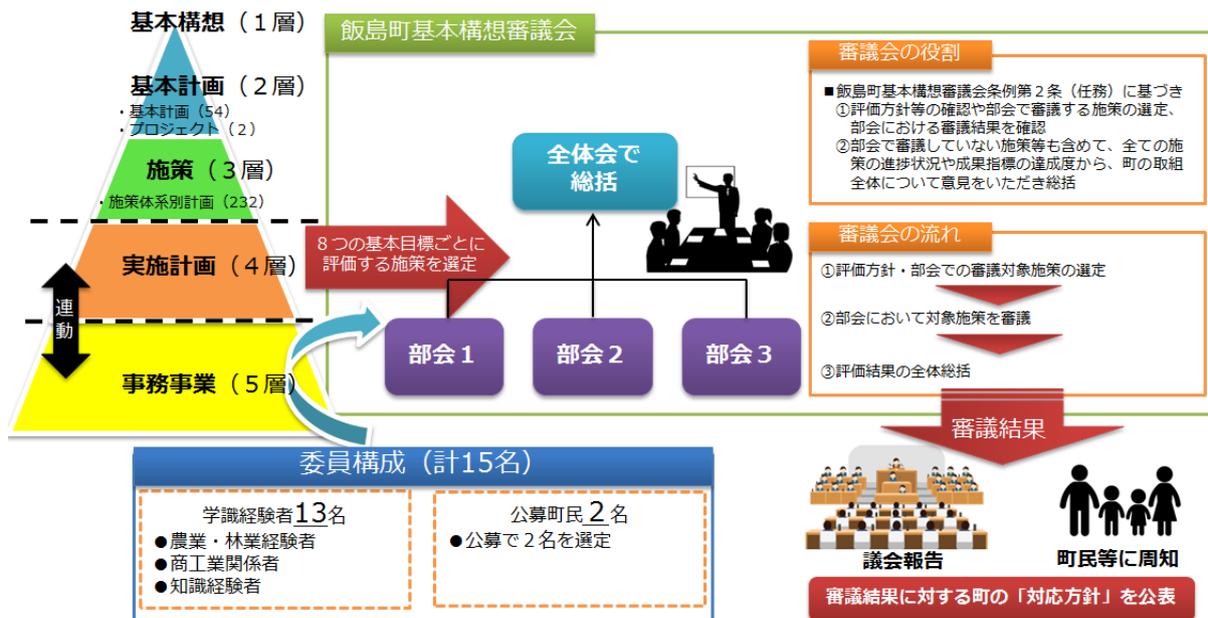
「実施計画（施策）評価」は、施策評価シートを活用し、成果指標等を通じて、配下の事務事業の効果を検証できるようにすることで、施策と事務事業の関係性を明確化し、事業の見直しに繋がります。

「事務事業評価」は、事務事業評価シートを活用し、効率的・効果的な進行管理となるよう、施策評価シートと連動することにより、事業の必要性や有効性、効率性などを客観的に評価できるようにし、効果的なPDCAサイクルの実現に繋がります。

## II 外部評価

町民目線・専門的視点で、効率的・効果的に施策を推進するために、実施計画（施策）評価について外部評価を実施します。

### 1 外部評価の全体イメージ



### 2 評価者

第三者機関による評価として、基本構想審議会の委員が行います。

### 3 評価対象

飯島町第6次総合計画に基づく8つの基本目標ごとに評価する施策を1施策（事業）選定し、評価を行います。

### 4 評価方法

選定された評価対象施策について部会ごとヒアリング等を実施し、審議します。各部会の審議結果を全体会で確認し、評価を確定します。

5 外部評価【スケジュールイメージ】

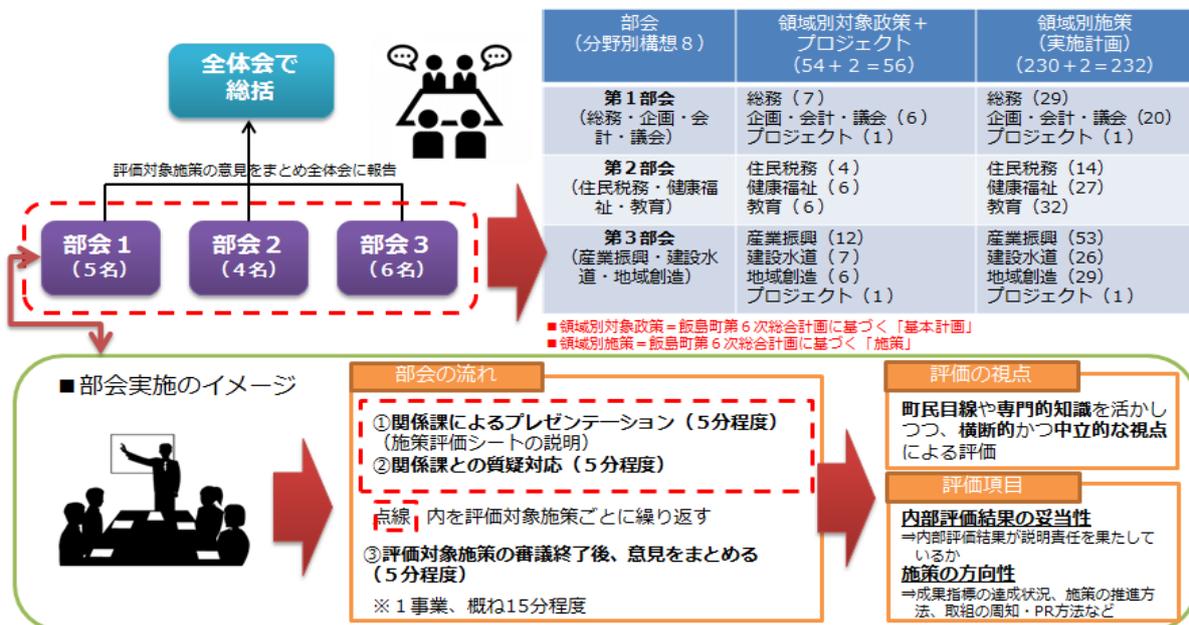
	7月		8月	
評価者	第1回審議会	②質問事項提出		第2回審議会
事務局 企画調整係	①選定		③まとめ	⑤評価
対象施策 担当者			④説明準備	

6 外部評価のポイント

- ・ 外部評価の対象施策は、政策の柱ごとに選定され、選定された施策の担当者は、施策の説明を十分に行います。
- ・ 審議会では、施策の進捗状況や成果指標の達成度から、総合的に評価を行い、意見を付して町に提出します。
- ・ 審議会の附帯意見について、町の対応方針を作成・公表し、今後の取組改善や次期実施計画に活用していきます。

7 外部評価における部会の役割と進め方

- (1) **選定した各施策を重点的に審議するため、以下の分野別に分けた部会を設置し、選定した施策を重点的に審議する**
- (2) 部会を構成する委員は、学識経験者と町民公募の体制で行う
- (3) 部会の審議終了後、**意見をとりまとめ、全体会に報告する**



8 外部評価シート イメージ

令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要					
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	1.住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり			
	基本計画（2層）	1-（1）災害に備えた防災体制の充実			
	施策（3層）	1-（1）-3 避難所の感染症対策と備蓄品の充実			
	プロジェクト				
担当課	総務課	担当係	危機管理係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課	〈避難所開設担当：住民税務課、健康福祉課、地域創造課、教育委員会〉				
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充</li> <li>・保管場所の慢性的な不足</li> <li>・災害有事における救援物資の荷受け・配給拠点の確保</li> </ul>				
施策の方向性	南海トラフ巨大地震などの震災や豪雨災害など、万一の災害に備え、防災体制や施設の整備・充実を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充や更新</li> <li>・避難所開設マニュアルや運用マニュアルに沿った適切な対応</li> <li>・防災用品や衛生用品の保管場所及び災害有事における救援物資の拠点確保の検討調整</li> </ul>				

2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 （指標の説明）				目標 実績	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	単位 等
成果 指標	1	災害用飲料水の備蓄数（1箱12リットル）	目標値a	250	250	250	250	250	箱	
			実績値b	192						
	指標の 説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される 災害用飲料水の備蓄数 ①人口×5%（9,500人×5%）= 475人 ②1人1日3リットル×475人×2日= 2,850リッ トル	達成率 (b/a)	76.8	0	0	0	0	%	
	2	災害用非常食の備蓄数	目標値a	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	食	
			実績値b	3,150						
	指標の 説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される 災害用非常食の備蓄数 ①人口×5%（9,500人×5%）= 475人 ②1人1日3食×475人×2日= 2,850食	達成率 (b/a)	105	0	0	0	0	%	
	3		目標値a							
			実績値b							
	指標の 説明		達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
4		目標値a								
		実績値b								
指標の 説明		達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した 数値で測れない効果などについ て記載）										
指標等の 成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的 要因等を記載）		①災害用飲料水は、備蓄総数が減少したが、賞味期限のピークを平準化するための一時的な措置であり、やむを得ないと考えています。今後複数年かけて更新期の波を抑えた備蓄数の確保を進めていきます。								

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1861	①あらゆる災害に備えるとともに、職員防災体制の強化及び装備品や備蓄品の拡充②自助・共助の質を高めることによる住民主体の防災力の向上	【令和3年度】①指定避難所等にTPAフィルター式の空気清浄機を66台配備し、平時にも活用することで感染症対策につながりました。また、既に空気清浄機が充足されている10の自主防災会については、代替事業として予算の範囲内で防災用品や衛生用品を自主防災会の希望に沿って配備し、有事に備えることができました。②総合ハザードマップを改定し、最新の土砂災害警戒区域・同特別警戒区域、浸水想定区域を町民の皆さんに周知し、有事に備えることができました。	R3	25,292	24,172
	防災対策費			R4	16,854	
	R5					
	R6					
	R7					

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>A</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>I</b>

6 外部評価の所見
評価者記入

7 所見を踏まえた改善点
担当者記入

### Ⅲ 申し合わせ事項

- (1) 評価には特別な知識等を要さない。
- (2) 全く知らなかった事業を評価する場合でも、審査会議（ヒアリング）において、事業の説明を聞き取り、「理解できた」「できなかった」も含め住民目線で評価する。
- (3) 特定の企業や団体、個人への利益誘導につながる行為は行わない。
- (4) 評価者が関わる事業へ、具体的な要望等を伝えない。

### Ⅳ 外部評価対象施策

No.	基本目標	政策 (基本計画)	施策	所管係等	頁
1	1	(1) 災害に備えた防災体制の充実	③避難所の感染症対策と備蓄品の充実	危機管理係	7
2	2	(1) 低炭素・循環型のまちづくり	②省エネルギーの推進	生活環境係	9
3	3	(2) 「生涯健康」支援	②年代に応じた疾病予防対策の充実	保健医療係	11
4	4	(8) 賑わう商店と買い物環境づくり	④感染症対策を踏まえ必要に応じた商品券の発行等による消費喚起	商工係	13
5	5	(6) 安全で安心な水道の確保	③隣接自治体への用水供給事業の推進	水道係	15
6	6	(1) 町の魅力を生かした観光地域づくり	①与田切公園、千人塚公園をベースとした与田切溪谷の整備と活用	魅力デザイン係	17
7	7	(6) 芸術・文化を守りつなぐ	⑤感染症に対応する安全な施設運営方法の研究	生涯学習係	19
8	8	(1) 将来像を目指す仕組みづくり	①評価・見直しによる総合計画の進捗管理	企画調整係	21
9	—	飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト※	豊かな森林や水資源を安定活用する強靱化を進め、木質バイオマス発電や水力発電により資源の地産地消や自主財源を図る「飯島ルネサンス」に取り組みます。	循環ライフ構想推進室	23
10	8	(1) 将来像を目指す仕組みづくり	②プロジェクトチームの編成による施策の推進	企画調整係	25
	—	人口増プロジェクト※	—		

※分野横断的な重点施策

## V 評価結果

令和3年度実施施策（外部評価）結果一覧（評価日：令和4年8月29日）

### 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要									
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		1.住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり						
	基本計画（2層）		1-（1）災害に備えた防災体制の充実						
	施策（3層）		1-（1）-3 避難所の感染症対策と備蓄品の充実						
	プロジェクト								
担当課	総務課	担当係	危機管理係	行財政改革プラン記載の有無	無				
関係課	避難所開設担当：住民税務課、健康福祉課、地域創造課、教育委員会								
施策の主な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充</li> <li>・保管場所の慢性的な不足</li> <li>・災害有事における救援物資の荷受け・配給拠点の確保</li> </ul>								
施策の方向性	<p>南海トラフ巨大地震などの震災や豪雨災害など、万一の災害に備え、防災体制や施設の整備・充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充や更新</li> <li>・避難所開設マニュアルや運用マニュアルに沿った適切な対応</li> <li>・防災用品や衛生用品の保管場所及び災害有事における救援物資の拠点確保の検討調整</li> </ul>								
2 成果指標状況と成果の分析									
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)			目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	災害用飲料水の備蓄数（1箱12リットル）	目標値a	250	250	250	250	250	箱
		実績値b	192						
	指標の説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用飲料水の備蓄数	達成率 (b/a)	76.8	0	0	0	0	%
		①人口×5%（9,500人×5%）＝475人 ②1人1日3リットル×475人×2日＝2,850リットル							
2	災害用非常食の備蓄数	目標値a	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	食	
	実績値b	3,150							
指標の説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用非常食の備蓄数	達成率 (b/a)	105	0	0	0	0	%	
	①人口×5%（9,500人×5%）＝475人 ②1人1日3食×475人×2日＝2,850食								
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)									
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)		①災害用飲料水は、備蓄総数が減少したが、賞味期限のピークを平準化するための一時的な措置であり、やむを得ないと考えています。今後複数年かけて更新期の波を抑えた備蓄数の確保を進めていきます。							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1861	①あらゆる災害に備えるとともに、職員防災体制の強化及び装備品や備蓄品の拡充②自助・共助の質を高めることによる住民主体の防災力の向上	①指定避難所等にTPAフィルター式の空気清浄機を66台配備し、平時にも活用することで感染症対策につながりました。また、既に空気清浄機が充足されている10の自主防災会については、代替事業として予算の範囲内で防災用品や衛生用品を自主防災会の希望に沿って配備し、有事に備えることができました。②総合ハザードマップを改定し、最新の土砂災害警戒区域・同特別警戒区域、浸水想定区域を町民の皆さんに周知し、有事に備えることができました。	R 3	25,292	24,172
	防災対策費			R 4	16,654	
				R 5		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>A</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>I</b>

6 外部評価の所見
①避難所の感染症対策を強化しつつ、計画的な備蓄品の確保を望む。 ②避難所における備蓄品の情報を可視化することを望む。

7 所見を踏まえた改善点
①避難所の感染症対策にも配慮しながら、計画的に備蓄品の確保を進めるとともに、定点での確実な在庫確認を行います。 ②町はもとより、各自主防災会における避難所の備蓄品等の情報(防災資材や衛生資材を含む)については、防災訓練等を通じて確認作業を行うとともに、リスト化したものは自主防災会内及び町に共有いただくよう依頼してまいります。

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要					
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	2.美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ			
	基本計画（2層）	2-（1）低炭素・循環型のまちづくり			
	施策（3層）	2-（1）-2 省エネルギーの推進			
	プロジェクト	2.人口増プロジェクト			
担当課	住民税務課	担当係	生活環境係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課	企画政策課				
施策の主な課題	国県が掲げる2030年温室効果ガス46%削減（2013年比）を達成するための効果的な施策が必要				
施策の方向性	美しい自然にはぐくまれた快適で豊かな暮らしを実現し、将来の世代に引き継いでいけるよう、省エネルギーや再生可能エネルギーの普及促進をはじめとする環境施策を推進します。 ・一般家庭を対象とする地球温暖化対策設備設置補助金を創設し、温室効果ガス排出削減を推進するとともに、人口増と定住の促進				

2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけた指標名 （指標の説明）				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	温室効果ガス排出量の削減（年）		目標値a	22	22	45	45	45	t	
				実績値b	9.5						
	2	指標の説明	地球温暖化対策設備設置補助金の活用による温室効果ガス排出量の削減貢献量		達成率 (b/a)	43.2	0	0	0	0	%
				目標値a							
					実績値b						
					達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）											
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）											

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	2872	①飯島町新エネルギービジョン改訂に向け、策定委員会を設置して検討②地球温暖化対策実行計画(区域編)の策定について研究	①地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定に向けて、策定委員会を設置しました。②地球温暖化対策実行計画策定委員会と一般参加者による地球温暖化対策の勉強会を開催しました。(令和3年11月30日)③地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定に向け、町内の温室効果ガス排出状況や将来推移などを把握するため、基礎調査を実施しました。④新築住宅における太陽光発電設備導入に補助しました。(5件)	R3	5,466	5,083
	新エネルギー普及対策事業			R4	14,584	
				R5		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	<b>B</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	<b>II</b>

6 外部評価の所見
施策の取り組みに課題が見受けられ、このままでは目標達成は難しいと思われる。目標達成に向けて事業を拡充するとともに、町民の取り組みが不可欠であることから、地球温暖化に対する関心・意識を高められるよう、より一層の周知・情報提供をする必要がある。

7 所見を踏まえた改善点
ZEH建設や定置型蓄電設備、V2H設備等の導入は地球温暖化対策として有効であり、今後、一般家庭において需要が増加することが予想されることから、既存の太陽光発電施設に加え、こうした機器等の導入への補助を拡充した「地球温暖化対策設備設置補助金(仮称)」の新設を検討します。また、地球温暖化対策を進めるためには住民の意識醸成を図ることは必要不可欠であることから、勉強会や出前講座の開催による啓発、町広報やホームページなどの媒体を活用した情報周知を検討します。

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要					
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	3. 誰もが健康で居場所と出番があり共に支え合える地域づくり			
	基本計画（2層）	3-（2）「生涯健康」支援			
	施策（3層）	3-（2）-2 年代に応じた疾病予防対策の充実			
	プロジェクト				
担当課	健康福祉課	担当係	保健医療係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課					
施策の主な課題	健診・検診受診率の向上、受診後のフォロー体制の維持・向上				
施策の方向性	生涯にわたり健康で充実した生活が送れるよう、生活習慣病の予防やこころの健康づくりに積極的に取り組み、誰もが生活の中で健康づくりに取り組むことが出来る住民参画の活動を進めます。 ・飯島町健康づくり計画及び飯島町国民健康保険特定健診等実施計画、保健事業実施計画に基づく事業の実施				

2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	がん検診受診率	指標の説明	目標値a	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	%	
				実績値b	32.2						
	2	精密検査受診率	指標の説明	胃・大腸・子宮・乳・肺がんの受診率平均（飯島町第6次総合計画）	達成率(b/a)	80.5	0	0	0	0	%
			目標値a	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0			
	3	国保特定健診受診率	指標の説明	健診後の精密検査受診率（飯島町第6次総合計画）	達成率(b/a)	87.8	0	0	0	0	%
			目標値a	61.0	62.0	63.0	63.0	63.0			
	3	国保特定健診受診率	指標の説明	国保特定健診受診率（第3期特定健診等実施計画目標値）	達成率(b/a)	105.6	0	0	0	0	%
			目標値a	64.4							
	<b>定性的な成果</b> (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)										
<b>指標等の成果分析</b> (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)			①令和3年度の受診率（国保特定健診受診率：令和4年7月7日現在速報値、10月頃確定） ・がん検診受診率 令和元年度（31.6%）令和2年度（23.5%） ・精密検査受診率 令和元年度（74.1%）令和2年度（73.3%） ・国保特定健診受診率 令和元年度（61.7%）令和2年度（64.3%）※県内順位5位 ②特定健診受診率は向上しているが、がん検診や精密検査受診率は減少しており、コロナ禍で受診控えも影響したのではないかと考えられます。								

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	2853 健康増進事業	①住民が安心して研修や健診・検診を受けられるよう新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら各事業の実施②各種健診・検診事業の充実③自殺対策推進計画の推進	①住民が安心して研修や健診・検診を受けられるよう新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら各種健診・事業を実施しました。	R 3	21,205	20,440
				R 4	18,620	
				R 5		
2	6051 疾病予防事業	①第2期データヘルス計画に基づき事業の実施②各事業PDCAサイクルにより事業を展開し、支援評価委員会で評価を得る。	①第2期データヘルス計画に基づき事業を実施しました。各事業PDCAサイクルにより事業を展開し、支援評価委員会で評価を得ました。	R 3	8,751	8,205
				R 4	8,934	
				R 5		
3	6052 特定健康診査等事業	①特定健診等実施計画に基づき特定健診受診率59%、特定保健指導実施率80%以上を目標値とする。令和2年度は特定健診受診率の目標値を達成しているため、令和3年度は更なる向上を目指す。目標達成のために、係内で情報共有を図り、内容の充実を図る。	①特定健診等実施計画に基づき特定健診受診率59%、特定保健指導実施率80%以上を目標値とし実施しました。②目標達成のために、係内で情報共有をし、内容の充実を図りました。	R 3	10,414	9,951
				R 4	10,686	
				R 5		
4	6053 健康づくり推進事業	①健康推進員の負担軽減を図りながら、健康づくり活動を継続	①保健師・管理栄養士の地区担当制による保健指導を実施しました。②健康ポイント事業を実施しました。	R 3	4,887	2,875
				R 4	4,394	
				R 5		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>A</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>I</b>

6 外部評価の所見
コロナ禍でありながら検診等の受診率が著しく低下しなかったことは高く評価できる。受診率の向上に向け、引き続き取り組むよう望む。

7 所見を踏まえた改善点
引き続き、住民の皆様様に健診受診の重要性を啓発しながら、現状の取り組みを実施していきます。

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	4. 地域特性を生かした産業の創造と振興のまちづくり									
	基本計画（2層）	4-（8）賑わう商店と買い物環境づくり									
	施策（3層）	4-（8）-4 感染症対策を踏まえ必要に応じた商品券の発行等による消費喚起									
	プロジェクト										
担当課	産業振興課	担当係	商工係	行財政改革プラン記載の有無	無						
関係課											
施策の主な課題	コロナによる住民の生活支援と町内事業者の経済支援の両立を目指す必要がある。										
施策の方向性	事業者が、人の賑わいを生みながら地域の暮らしを支え活発な商業が営めるよう、買い物形態の変化や時代に沿った商業が営める取り組みを支援します。										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 （指標の説明）				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	【再掲】地元滞留率		目標値a	-	-	-	6	-	%	
				実績値b	-						
	2	指標の説明	町内で買物をする世帯の割合（飯島町第6次総合計画）		達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	
				目標値a							
					実績値b						
			指標の説明	達成率(b/a)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）											
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）		①特定の店舗に偏った利用となる傾向にあり、コロナの影響を強く受けている事業者への配慮が必要です。②発行及び販売する職員の負担が大きいことから、これまでの状況を分析し効率の良い事業実施に努める必要があります。									

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	4124	①新型コロナウイルス感染症拡大防止により町内において深刻な影響が出ていることから、地域住民、地元企業など消費の喚起、飲食店、小売業、サービス業など、地域コミュニティの活性化を応援することを目的とした「飯島町くらし復興券」を発行するとともに、生活支援のため低所得者世帯、低所得の子育て世帯及び社会福祉施設に対し、復興券を支給します。	①第3弾飯島町くらし復興券の発行 ②使用期間：令和3年4月29日～令和3年9月30日③発行総額：120,000千円(うち、住民税非課税世帯、医療・福祉関係事業所へ無料交付(1,602冊))④取扱店舗：225事業所	R3	127,702	126,916
	くらし復興券 1億円事業			R4		
				R5		
4 施策の進捗状況						
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由			
	A. 順調に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A	①くらし復興券12,000冊はすべて販売及び交付で発行することができ、1億円余の現金が町内事業者に還元することができたため。			
5 今後の方向性						
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性			
	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	II	①飲食店等の業種専用券の発行も検討していきます。 ②発行及び販売にかかる事務の負担が大きいため効率的に事業を実施していきます。			
6 外部評価の所見						
医療等幅広い用途に使えるありがたいとの声を聴く、使用率も高く、一定の効果を認める。今後は、使用できる店舗の周知などは、よりPRを充実させること、また、使用できる店舗等を増やすなどより使用しやすい券となることを望む。						
7 所見を踏まえた改善点						
取扱店舗の周知については、取扱店舗へもそのPRに努めていただくとともに、町広報紙、ホームページ等で一層の周知に努めることで町民の皆さんの利用を促してまいります。また、取扱店舗の声を伺い、取扱店にとっても復興券が利用しやすくなるよう改善を図ってまいります。						

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	5.暮らしを支える強靱で快適なライフラインの創造								
	基本計画（2層）	5-（6）安全で安心な水道の確保								
	施策（3層）	5-（6）-3 隣接自治体への用水供給事業の推進								
	プロジェクト									
担当課	建設水道課	担当係	水道係	行財政改革プラン記載の有無	有					
関係課										
施策の主な課題	—									
施策の方向性	重要なライフラインである水道について、被災時でも迅速に飲料水を供給できるよう、施設管路の耐震化を進めるとともに、より安定した経営を行うため、隣接自治体との連携を図り既存施設の有効利用を図ります。 ・中川村との広域連携（用水供給事業）推進									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	指標の説明	目標値a							
			実績値b							
	達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
	目標値a									
2	指標の説明	実績値b								
		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
<b>定性的な成果</b> (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)			①用水供給事業につきまして、中川村と用水供給単価決定協議、用水供給事業に係る条例等の整備、許認可関係事務を進めたことにより広域連携に向けた取組みを実施しました。(飯島町水利使用許可申請書作成、飯島町水道用水供給事業創設認可申請書作成、中川村との打ち合わせ(4回))							
<b>指標等の成果分析</b> (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)										

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1		①用水供給事業推進のための水利権更新、用水供給事業の創設認可、その他必要な事務を進めます。	《R元年度～R3年度》①用水供給単価の決定しました。②用水供給に向けた関係条例等の改正及び創設をしました。③用水供給事業開始に向け、許認可関係の事前申請を経て、令和4年1～2月に本申請を行いました。	R3	2,998	2,998
	水道事業会計			R4	予算なし	
				R5		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>B</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>II</b>

6 外部評価の所見
3年度の評価は妥当。今後は、施設の老朽化対策を含め、長期的な視点をもって、水道を安定的に供給するための検討を進めることを望む。

7 所見を踏まえた改善点
用水供給については計画されている連絡管接続工事を進めて参ります。 また、施設の老朽化対策を含め、引き続き水道水を安定的に供給できるように努めて参ります。

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要									
政策体系上の 位置づけ	基本構想（1層）	6. 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり							
	基本計画（2層）	6-（1）町の魅力を生かした観光地域づくり							
	施策（3層）	6-（1）-1 与田切公園、千人塚公園をベースとした与田切溪谷の整備と活用							
	プロジェクト								
担当課	地域創造課	担当係	魅力デザイン係	行財政改革プラン記載の有無	無				
関係課									
施策の 主な課題	公園整備の方向性が決まっておらず、早急な整備計画を建てる必要がある。								
施策の 方向性	町の魅力や地域資源を生かした観光地域づくりを住民参加で進め、地域の活性化を図りながら、交流人口や関係人口、定住人口の増加へ繋げていきます。 ・観光戦略会議等による与田切溪谷の整備計画策定、整備更新 ・R6以降、シオジ平自然園の整備								
2 成果指標状況と成果の分析									
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 （指標の説明）		目標 実績	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	単位 等	
成果 指標	1	観光客数（与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いじま、道の駅田切の里）（年）	目標値a	250,000	300,000	350,000	400,000	450,000	人
		実績値b	279,900						
	指標の 説明	利用者数合計（第6次総合計画） （R2:271,000人）	達成率 （b/a）	112.0	0	0	0	0	%
	2	観光客数（与田切公園及び千人塚公園）（年）	目標値a	30,000	40,000	50,000	60,000	70,000	人
実績値b		45,700							
指標の 説明	第6次総合計画総合計画で設定した指標のうち、与田切公園及び千人塚公園の利用者数合計（R1:95,300人・R2:26,100人）	達成率 （b/a）	152.3	0	0	0	0	%	
定性的な成果 （取組を進めたことで発 現した数値で測れない効 果などについて記載）									
指標等の 成果分析 （指標の目標値達成を阻 む外的要因等を記載）		①観光客数については新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けることが考えられたが、目標とした数値を達成し、与田切及び千人塚においては昨年度よりも175%ほど増加しており、徐々にではあるが観光客が回復しつつあるとみられます。							

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	4143	①国定公園と指定されたことで、開発はもちろんだ大規模な修繕なども国への届け出が必要となる。施設の整備・改修計画などがより重要となるため長期の計画を策定②駐車場の不足が意見として出ており、周辺敷地の活用の検討	①センターハウスの休憩フロアについて、自然環境整備支援事業補助金を活用し拡張を行いました。②遊歩道の木橋の改修を行いました。③櫻山及びログキャビンについて、地方創生テレワーク推進交付金を活用し改修を行いました。	R 3	90,309	89,359
	観光施設管理費			R 4	59,118	
				R 5		
2	4441	①指定管理者を決定したが、運営初年度となるため、定期的な打合せを行い支援の実施②施設の老朽化が目立つため、トイレの洋式化などを含め長期的な修繕計画の策定③与田切渓谷ウォーターパーク構想に基づく整備の推進	①オートキャンプ場においてトイレの洋式化及びシャワー室の改修を行いました。②炊事場や野外照明の一部についてLED化を行いました。③与田切川左岸においてサイクリングロードを開放しました。	R 3	47,535	47,286
	与田切公園管理費			R 4	18,709	
				R 5		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>B</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>II</b>

6 外部評価の所見
町の情報発信の充実を望む。 飯島町を知ってもらうためのPR、また、町に来てくれた方へ飯島町の自然資源(山の名前や、もともとある植物・樹木・昆虫など)をPRするパンフや看板を充実するなど、より積極的なPRを望む。

7 所見を踏まえた改善点
飯島町をより知ってもらうためSNSやホームページ、案内パンフレット等の充実により町のPRに努めます。

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）		7.「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし								
	基本計画（2層）		7-（6）芸術・文化を守りつなぐ								
	施策（3層）		7-（6）-5 感染症に対応する安全な施設運営方法の研究								
	プロジェクト										
担当課	教育委員会	▼ 担当係	生涯学習係	行財政改革プラン記載の有無	無						
関係課											
施策の主な課題	コロナ禍でも文化活動が停滞しないようにするための環境整備が課題です。										
施策の方向性	質の高い芸術・文化活動にふれる機会を提供するとともに、有形・無形の文化財を守り伝えることで、地域の文化力の向上を図ります。										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1			目標値a							
				実績値b							
	2	指標の説明			達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
				目標値a							
				実績値b							
		指標の説明			達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)		①国の文化芸術振興費補助金を活用し、無線LAN・有線LAN及びカメラ・スイッチャーなどの機材を導入し、文化館から配信できる環境を整備したことにより、コロナ禍の文化活動の可能性を広げました。									
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)											

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	5623	①時代が変わっていく中で、住民や地域のための公民館活動がどうあるべきか、コロナ禍を契機に意見交換を活発にし、各館役員の意識の向上を図る	①館長主事会を6回開催しました。②施設修繕補助(2件)	R3	8,160	8,115
	公民館費			R4	23,993	
				R5		
2	5631	①コロナ禍でも町民の読書活動が充実するよう支援策を検討・実施②子ども読書活動推進計画の次期計画を策定	①個人利用者数7,589人(前年10,848人)、貸出冊数45,895冊(前年45,037冊)②移動図書館車利用者2,268人(前年3,978人)、貸出冊数13,305冊(前年16,025冊)③読み聞かせ講座を4回開催し26人が参加しました。(前年2回22人)④園児・児童向け企画はおはなし会など16回開催し243人が参加しました。(前年17回184人)⑤ブックスタート12回開催し49人に配布しました。(前年12回51人)⑥セカンドブック5回開催し62人に配布しました。(前年4回47人)⑦サードブックは飯島小学校と七久保小学校で各1回開催し80人に配布しました。(前年1回66人)	R3	35,253	34,498
	図書館費			R4	37,620	
				R5		
3	5641	①コロナ禍でも文化活動が停滞しないよう支援策を検討・実施	①利用者数は57,239人(前年11,508人)②利用件数は613件(前年563件)③使用料収入は906,600円(前年794,100円)④ワクチン接種会場となったことにより利用者数は増加しました。(ワクチン接種以外の利用者数は14,989人)⑤文化サロン事業として、映画「ハヤタロー」、「竜とそばかすの姫」、「よからうもん」コンサート、人形劇「人魚姫」、「島田秀平講演会」を実施しました。⑥文化芸術振興費補助金を活用し「新たな日常」で必要とされる飯島町文化館の配信等環境整備を図りました。	R3	57,841	56,589
	文化館費			R4	35,859	
				R5		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>B</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>I</b>

6 外部評価の所見
オンライン配信など、環境整備されたことは評価できる。今後は、見る側の環境整備や機会の提供に取り組まれることを望む。また、可能であれば成果指標を設定されたい。

7 所見を踏まえた改善点
文化館活性化の成果指標として、人口の4倍の利用者数(町民が1年に4回利用していただく)を設定しているが、これはコロナ禍を考慮していない。コロナ対策による効果が表れた成果を示す指標として根拠のある数字を設定することは今後コロナ禍が継続するのかひとくなるのか収まるのかの見通しもないため難しいが、次年度は平常時からの減少率を前年度より下げることを目標とする。

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	8. 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり									
	基本計画（2層）	8-（1）将来像を目指す仕組みづくり									
	施策（3層）	8-（1）-1 評価・見直しによる総合計画の進捗管理									
	プロジェクト										
担当課	企画政策課	担当係	企画調整係	行財政改革プラン記載の有無	有						
関係課	全課										
施策の主な課題	施策、事務事業の進行管理・評価システムの構築										
施策の方向性	<p>総合計画などの長期計画の着実な運用を図ることで、社会の変化に対応できる、将来にわたって暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めます。また、住民ニーズの多様化に応えるため分野を超えて施策を実現していく仕組みをつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯島町第6次総合計画に掲げたまちの将来像の実現に向けて、必要な財源の確保等を図るための行動指針（行財政改革プラン）に基づき、飯島町第6次総合計画の推進と合わせて一体的な行財政改革を推進</li> <li>・各種計画の着実な実行と進行管理</li> </ul>										
2 成果指標状況と成果の分析											
成果指標	1	総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)		目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
				目標値a							
					実績値b						
	指標の説明				達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	2	総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)		目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
				目標値a							
				実績値b							
指標の説明				達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)		①飯島町第6次総合計画の進行管理・評価方法の再構築について、実施計画（施策評価）シート・事務事業評価シート、を作成したことにより、連動した仕組みを構築することができました。									
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)											

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1161	①飯島町第6次総合計画等に基づく施策等の進行管理・評価の再構築	①飯島町第6次総合計画の進行管理・評価方法について再構築を行いました。・新たに「実施計画(施策評価)シート」、「事務事業評価シート」を作成しました。②施策の進むべき方向や目標が共有できるような成果指標を設定しました。	R3	9,625	9,549
	企画費			R4	9,536	
				R5		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>B</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>I</b>

6 外部評価の所見
実施計画(施策評価)シート・事務事業評価シートを活用しながら、事業(飯島町第6次総合計画)の検証を望む。

7 所見を踏まえた改善点
引き続き、飯島町第6次総合計画の着実な実行と進行管理・評価を実施していきます。

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要											
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	—									
	基本計画（2層）	—									
	施策（3層）	—									
	プロジェクト	1. 飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト									
担当課	地域創造課	担当係	環境循環ライフ構想推進室	行財政改革プラン記載の有無	有						
関係課	企画政策課、住民税務課、産業振興課、建設水道課										
施策の主な課題	この土地ならではの資源を生かし、産業を育てるとともに、人間本来の営みや人と人との頼り合い、心の平穏を育み、経済活動を超えて豊かに暮らせるまちの構築 解決に向けて取り組む地域課題「自主財源の確保」「脱炭素」「災害への備え」「山林の荒廃」「農業の担い手不足」「農村風景の保全」「地域活力の低下」「人口減少」										
施策の方向性	地域の資産・資源に価値を見出し、経済性の伴った事業を展開することで、環境・経済・社会の課題の同時解決を目指します。地域資源を活かし、消滅可能性都市から子どもたちが誇れる持続可能なまちを創っていきます。										
2 成果指標状況と成果の分析											
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等	
成果指標	1	指標の説明	水力発電の設置予定数（年）	目標値a	—	—	—	1	—	基	
				実績値b	0						
			町内に設置される予定の水力発電における系統接続申請数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	%	
	2	指標の説明	木質バイオマス発電の設置予定数（バイオマス発電）（年）	目標値a	—	—	1	1	1	基	
				実績値b	0						
			町内に設置される予定のバイオマス発電における系統接続申請数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	0	0	0	%	
	3	指標の説明	バイオマス発電の排熱を活用した農業施設数（年）	目標値a	—	—	—	1	1	箇所	
				実績値b	0						
			7ヶリノベーション2030における排熱を活用した高度施設園芸数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	0	%	
	4	指標の説明	いいじま体験プログラムの参加者数（ワークショップ）（延数）	目標値a	20	40	60	80	100	人	
			実績値b	68							
		飯島流ワークショップにおける体験プログラム及び宿泊者数	達成率(b/a)	340.0	0	0	0	0	%		
<b>定性的な成果</b> (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)											
<b>指標等の成果分析</b> (指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載)		①令和3年度に目標値として定めたいいじま体験プログラムの参加者（ワークショップ）については、町民向けプレ事業の実施により目標値を上回った実績となりました。②この令和4年4月29日に本格オープンしましたが、その後の顧客確保が課題であり、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」での取組み方法やリニア新幹線開業を見据えた長期戦略が必要。									

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1	1176	①飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」具体化のため、プロジェクト会議を年5回以上開催し、方向性を協議②目指す姿を明確にし、町民への説明・企業等への協議	①環境循環ライフ構想プロジェクト会議開催(4回)②ワーキング会議開催(2回)③環境循環ライフ構想における住民向け、関係者向け説明会開催(13回)④環境循環ライフ構想における国(総務省、農水省、環境省)との協議(6回)⑤飯島流ワーケーション町民向けプレ事業を開催(68名参加)	R3	2,564	2,215
	環境循環ライフ構想推進費			R4	14,754	
				R5		

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>B</b>

5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>II</b>

6 外部評価の所見
①木質バイオマス発電事業については、材の供給の継続性や、材を切り出した後の山林のあり方(山林の減少による崩落のリスク対策)などの課題を見据え、事業を進めるにあたり実現可能性を慎重に判断することを望む。また、ゾーニングによる山林管理が必要と考えるので、地質の専門家などが参加する中での検討を提案する。 ②ワーケーション事業については、利用者との交流や利用が一過性のもではなく、交流が継続される、また、移住につながるなど、次につながるようなPRや内容になるような事業実施を望む。

7 所見を踏まえた改善点
①木質バイオマス発電事業については、事業継続性の確保が大きな課題となっています。よって、令和4年度に「木質バイオマスエネルギー供給事業導入計画」を策定し、採算性・材の供給体制など見える化し、実現可能性・継続可能性の高い箇所を選定し、具現化を図っていきます。 ②ワーケーション事業が目指す成果として、「交流・関係人口の増加」・「地域活性化」及び「農業者の担い手確保」としてあります。一過性のもではなく、企業との包括連携協定の締結による定期的な利用や、農業研修から定住・新規就農者確保へ繋がるような仕組みづくりとアプローチを行っていきます。

## 令和3年度実施計画（施策評価シート）

1 施策の概要										
政策体系上の位置づけ	基本構想（1層）	8. 将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり								
	基本計画（2層）	8-（1）将来像を目指す仕組みづくり								
	施策（3層）	8-（1）-2 プロジェクトチームの編成による施策の推進								
	プロジェクト	2. 人口増プロジェクト								
担当課	企画政策課	担当係	企画調整係	行財政改革プラン記載の有無	有					
関係課	全課									
施策の主な課題	人口増（人口減少）対策									
施策の方向性	<p>総合計画などの長期計画の着実な運用を図ることで、社会の変化に対応できる、将来にわたって暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めます。また、住民ニーズの多様化に応えるため分野を超えて施策を実現していく仕組みをつくります。</p> <p>・プロジェクト・チームの設置及び運営に関する規程、飯島町第6次総合計画に掲げるプロジェクト推進のためのプロジェクトチーム設置要領に基づきプロジェクトチームを設置し、「飯島町第6次総合計画」「飯島町人口ビジョン」に基づく、人口増（人口減少）対策を推進</p>									
2 成果指標状況と成果の分析										
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)				目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
成果指標	1	プロジェクトチームによる問題解決件数（延数）		目標値a	1	0	2	0	3	件
		実績値b				5				
	指標の説明	施策の事業化（新規・拡充等）件数 （飯島町第6次総合計画）		達成率 (b/a)	500	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	%
	2			目標値a						
指標の説明		達成率 (b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
定性的な成果 (取組を進めたことで発 現した数値で測れない効 果などについて記載)		<p>①飯島町第6次総合計画に基づく「人口増プロジェクト」の推進について、各ワーキンググループ会議において、町における影響・課題を分析し、それに対処する戦略（施策）を立案し、令和4年度の事業として具体化することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口増プロジェクト全体会議（4回、オンライン研修会含）</li> <li>・情報発信・魅力向上ワーキンググループ会議（3回）</li> <li>・定住促進ワーキンググループ会議（3回）</li> <li>・子育て・婚活ワーキンググループ会議（3回）</li> <li>・保育・教育環境ワーキンググループ会議（2回）</li> <li>・「人口増（減少）対策について」職員説明会の開催（1回）</li> </ul>								
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成を阻 む外的要因等を記載)		<p>①令和4年度事業として5つの施策を事業化したことにより、目標値を達成することができました。（1）飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金（2）飯島町に光をそそぐマイホーム取得奨励金（3）飯島町民間宅地開発補助金（4）保育園給食費（副食費）完全無償化（5）子育て世帯0-3歳上下水道関連応援事業補助金</p>								

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡素に記載)	主な取組実績	事業費(千円)		
	事業名			年度	予算額	決算額
1				R 3		
				R 4		
				R 5		

4 施策の進捗状況			
施策の 進捗状況 (指標等の成 果を中心に施 策を構成する 事務事業評価 等から総合的 に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
		<b>A. 順調に推移している</b> (目標達成している) <b>B. 一定の進捗がある</b> (目標達成に向けて進捗している) <b>C. 進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D. 進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>B</b>

5 今後の方向性			
今後の 事業構成の 妥当性 (手段は妥 当か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
		<b>I. 効果的な事業構成である</b> (現状のまま継続する) <b>II. 概ね効果的な構成である</b> (一部見直し等の余地がある) <b>III. あまり効果的な事業構成でない</b> (見直し等の余地が大きい) <b>IV. 事業構成に問題がある</b> (抜本的な見直し等が必要である)	<b>II</b>

6 外部評価の所見
引き続き、町における影響・課題を分析しつつ、情報発信の強化を望む。

7 所見を踏まえた改善点
ご指摘を踏まえ、政策ターゲットや目的内容に応じて効果的な媒体を使い分け、各情報発信媒体の特性を最大限活用した一貫性のある情報発信を行うため、「人口増施策情報発信計画シート」を作成し、令和4年8月より運用を開始したところです。今後、効果検証をしつつ情報発信の強化に努めていきます。